

ELDER

エルダーの旅便り

2005
夏号
5月～8月
プログラム

エルダー旅倶楽部 世界を舞台に美しく学ぶ大人の教室

通巻171号

究極の自由気ままな旅
キャンピングカーで旅する世界

7年前にキャンピングカーを購入し、ヨーロッパ各地を自由気ままに旅するサンキン正子さんはベルギー在住で、本誌「エルダーの旅便り」の読者ファン。正子さんにキャンピングカーの旅の魅力をお聞きしました。

夢がふくらむ キャンピングカーのある暮らし

ある日、何気ない会話のなかで「定年したらキャンピングカーを買ってのんびり旅したいな」と主人がいうので、「定年してから買うより、いま買ったほうが経済的よ」と答えたら、早速、翌日に購入。「北極に行きたい」、「モーターボートやパラグライダーを積んで旅先で楽しみたい」と、どんどん夢は膨らみました。

数年前から気のあう友人夫婦(マヌーとイレース)と、2台4人でキャンピングカーの旅を楽しんでいます。ストラズブルクに住む彼らと途中で待ち合わせして出発。2台だとキャンプ場以外での野営も安心。旅の幅も広がり、無線機があるので走りながら会話もできます。道が心配なところは1台が先に行って「OK」とか「ここは駄目だから引き返そう」といった、ちょっとした冒険がまた楽しいのです。

自由気ままな旅の醍醐味が

夏のバカンスは2～3週間旅します。マヌーは釣りが趣味で、釣り竿をもって出かけます。奥さんのイレースと私は、近くを犬と散歩します。

⇒キャンピングカーで気ままな旅を体験する
北海道キャンピングカー入門講座は→P12



イレースは日差しを浴びながらのんびり読書するのも好き。そして私の主人は、バカンス先でのんびりテレビを見るのが好き(旅先でテレビなんてと批判されながら…)。みんなそれぞれに、のんびり好きなことをする。そして家(キャンピングカー)に戻って、いっしょの時を楽しむ。まさに旅先にある楽しいわが家です。

思い出は、旅先での 楽しい人との出会い

置き場所を決めたら、買い物は積んできたバイクで。いいところがあったら好きなだけそこにいれればいい。テーブルを出して海を眺め、食事と会話をゆったり楽しみます。太陽と自然が満喫できるキャンピングカーの旅は、のんびり、いい空気を満喫したい人にぴったりです。

ブルゴーニュでは、市場でオマール海老を安く仕入れてバーベキュー。気取って食べるレストランと違って、新鮮なものが自由に楽しめ、漁師さんから直接買うこともできますしね。目の前に青い海が広がるすてきな場所に5日ほどいたこと。地元の釣り好きたちと仲良くなり、いっしょに船に乗って釣りへ出かけ、その人たちを招いて、お酒を飲んで語りあった思い出はいまも忘れられません。(談)

「日本のエルダーのためにキャンピングカー企画を立てようと思う」と話すと、「私たちといっしょに数台でフランスを旅するのはどう?きっと忘れられない体験となるわよ」と、また夢を膨らませていました。



サンキン正子(山崎正子)

フランス人のご主人と結婚後、世界各地を移り住む転勤生活を経験。今は定年前の最後の勤務地ベルギーに在住。長期休暇は南仏ツールーズの自宅にキャンピングカーで戻る。そしてその足で各地へ車を走らせバカンスを楽しんでいる。

